

医療法人 清梁会 高梁中央病院

〒716-0033
岡山県高梁市南町53
TEL (0866) 22-3636 FAX (0866) 22-0536
http://seiryokai.jp/takahashi

◆シェアメドで情報共有

当院は平成二十五年より医療ネットワーク岡山（晴れやかネット）に参加しています。

晴れやかネットとは患者さんの同意のもとに、各医療機関に保管されている医療情報を高度に暗号化してインターネットで結び、相互に共有することにより診療に役立てるための仕組みです。これにより、かかりつけ医・病院・調剤薬局の間で患者さんの治療内容や投薬情報を共有して一つのチームとして治療にあたる事ができます。高梁医師会では晴れやかネットの開示の仕組みの一つであるシェアメドを、医師会参加の多くの医療機関で導入し、医療介護連携を進めていくよう取り組んでいます。当院では晴れやかネットの開示にID-Linkという仕組みを使っていますが、令和三年二月より開示方法をシェアメドに変更しました。これにより今まで施設毎に必要だった同意書の取得が、シェアメド導入施設で一度同意して頂ければ、二施設目以降の同意書の取得が不要となり、より利用しやすくなりました。

晴れやかネットを利用した情報共有をご希望の方々が居られましたら、かかりつけ医または当院にお気軽にご相談下さい。



◆全日本病院学会の開催

来る令和三年八月二十一日、二十二日の二日間、全日本病院学会が岡山で開催されます。岡山県が本学会の舞台となるのは初めてのことで、当院からも演者を含め職員の参加を予定しています。開催については、現地への参加ができない現状を鑑み多くの学会で取り入れられているハイブリッドでの開催が予定されています。

学会のテーマは「コロナ禍での病院経営・持続可能へのチャレンジ！」と題され、全国の医療機関から職種を問わず参加する学会として、まさに今必要なテーマとなっています。昨年から出現している変異株も含め新型コロナウイルスは二度の緊急事態宣言を経て現在もなおお猛威を振るい続けています。コロナ禍とよばれるこの一年間、医療機関はどのような変化を経験してきたのか。四題のシンポジウムと八題の特別講演を中心に多くの先生方が最新の知見を交えて発表されます。シンポジウムではタイトルを「アフターコロナ禍のグレート・リセット 新しい日本医療を考える」と題し、コロナ禍を終えるために医療機関がとるべき行動、危機を脱した後に日本の医療が目指す復興について、ディスカッションが

◆看護師募集案内の更新

予定されています。当院としても本学会への参加を通し、全国の動向や地域におけるコロナ禍の在り方など、多くの知識や取り組みを共有することで、より質の高い医療の提供へ繋げていきたいと思っています。

新年度を迎え、看護師募集のパンフレットが新しくなりました。就職先を検討している看護職の方々に、より当院の魅力を知ってもらうため、内容やレイアウトを変更しています。

新しいパンフレットでは、当院の進もうとしている方向や院内の雰囲気を知ってもらうための「病院理念・看護部目標」「病院概要や当院の役割」「院内風景」のページ、新人看護師が業務を覚える過程がわかる「新人看護師の一年間の教育スケジュール」や「看護師長、看護主任、先輩看護師からのメッセージ」のページ、さらに当院で勤務する場合の条件を確認できる「看護師募集案内」のページなどで構成されています。ホームページのお知らせからも閲覧できますので、是非ご覧ください。

新入職員紹介

【整形外科医師】

・大橋 秀基

【看護師】

・三村 愛奈

・有光 祥子

・藤村 ゆきの

・丹上 栞乃

・水田 成美

・近宗 涼太

・堀 香奈

・臂 英里

・小川 真利枝

・能勢 柚香

【社会福祉士】

・藤森 裕大

【理学療法士】

・出口 柊希

・荒木 彩

研修医紹介

岡山市立市民病院

寺嶋 悠也 内科専攻医

岡山医療センター

安東 愛理 内科専攻医

岡山医療センター

光宗 真佑 内科専攻医

晴れやかネット
QRコード



1. 安心し、納得していただける医療を提供します。
2. 心の通い合う信頼関係を築いていきます。
3. 地域の中核病院として、地域医療に貢献します。



～病院理念～

SEIRYO GROUP



【高齢者の方の新型コロナワクチン接種について】

予約可能対象者：定期的に当院へ受診されている方

予 約 方 法：病院窓口（来院）、外来受診時、もしくは専用ダイヤルでの予約

TEL：0866-56-1233 月曜～土曜 13時30分～16時00分

※1回目の予約は7月31日を最終日とさせていただきます。

- ・2回目の接種は3週間後の同じ曜日で予約させていただきます。
- ・予約なしでの新型コロナワクチン接種は出来ません。
- ・予約のキャンセルは必ず1週間前までにご連絡くださいますようお願いいたします。

医療安全研修会を開催しました！

令和3年3月23日に院内医療安全研修会を開催しました。新型コロナウイルス感染予防対策を十分行い、当院の外科遠藤福力（えんどうもとちか）医師が「急変時対応について」のテーマで講演しました。救命が必要な場面は病院内だけでなく、日常生活でいつ遭遇するか分かりません。また病院内に限っても救急患者さんや入院患者さんなど外来入院問わず起こりえます。そのような時に落ち着いて対応できるように日頃から知識の再確認を行っていくことが重要です。



講演内容は救命が必要な人（病院内では患者さん）の初期対応や心肺蘇生法（以降CPR）、胸骨圧迫についてでした。胸骨圧迫とは一般的に心臓マッサージと呼ばれるものです。初期対応としては屋外であれば周囲の安全確認、患者さんの反応確認、救急車の要請などを行います。反応は呼吸の確認と脈拍の確認を行い、迷ったら呼吸も脈拍もないものとして対応することが重要です。次にCPRを開始します。原則として胸骨圧迫と人工呼吸は30：2の間隔で行います。胸骨圧迫のペースは100～120回/分これはアンパンマンやドラえものの歌のリズムと同じで、圧迫の深さは5～6cm、圧迫後は完全に胸壁を戻すことが重要なポイントで、圧迫する部位などは図などを表示しながらの分かりやすい解説で、以上のポイントを押さえて質の高いCPRを行うことが大切であるとのことでした。また、現在のコロナ禍における感染対策や注意点についても説明がありました。

講演の後に人形を使い、胸骨圧迫の実践練習も行いました。圧迫のリズムや深さなどがモニターに表示され、正しい胸骨圧迫ができているか確認しながら研修しました。人形を使っただけの研修機会はあまりないので貴重な研修会になりました。参加者からも参加型の研修会が好評でした。また、急変時の対応について再確認でき良かったとの声が多くあり、今後も継続してこのような研修会を続けていければと考えています。それが地域の中核病院として質の高い医療を提供していくことに繋がると 생각합니다。